



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
E-mail:sato.juichi.v7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No. 49 (2025. 3) 本号の編集担当者 森田浩之

【支部情報】

予定

- 1) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2025』
2025年3月15日(土) ZOOMによるオンライン開催
- 2) 『総合診療専攻医オリエンテーション』
2025年5月17日(日) ZOOMによるオンライン開催
- 3) 『第14回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』
2025年11月30日(日) 会場：福井大学医学部附属病院 臨床研修センター 白翁会ホール

報告

●三重支部

【活動報告】

1) レジデントデイ 開催

日時：2025年1月28日(火) 15:00~18:00

会場：三重大学医学部内講義室

三重総診レジデントデイを開催。専攻医4名、研修医1名、指導医11名が参加しました。

ビデオレビュー、研究の相談など、学びの多い勉強会となりました。

2) 第4回 MieGP12 総合診療フォーラム 開催

日時：2025年2月8日(土) 12:30~17:00

会場：三重大学地域イノベーションホール(地域イノベーション研究開発拠点C棟3階)

参加者：学生13名、専攻医1名、教員指導医など 合計39名

全国的に記録的な大雪の中、学生、指導医、教員、行政、地域住民等計38人に参加いただき盛会のうちに終了することができました。

第1部、新野保路先生、向原千夏先生指導の元、宮島真悟君が企画した「暮らし診る、地域診断ワークショップ」では、地元の地域住民さんも参加いただき、地域の健康・医療ニーズと私達医療職との関わりについて楽しく語り、学びました。

第2部、フォーラム「総合診療医を育てるための初期研修医教育とは？」では、まず、石角綾香さんらより地域医療実習で経験したことについて、田中輔先生よりご自身の総診キャリア選択について、日比亨先生・向原千夏先生より若手医師のキャリア選択に纏わる期待と悩みについて、それぞれ発表しました。

次に、鈴木富雄先生による招待講演では、総合診療医の役割はあなたの専門家あること、大阪医薬大の救急外来と急性期病棟診療で総診が行っている学生・研修医の屋根瓦式チーム制の臨床教育等についてお話いただきました。

そしてグループワークでは田中輔先生と若林英樹先生ファシリにより、初期研修における理想の地域医療・総合診療研修を創るための12のTipsを考え、うち7つを共有しました。

以上、とても楽しいひと時で、皆が学びと交流を得ることができました。



3) 虎の穴「医学部では教えてくれない総合診療的なアレコレ」 開催

日時：2025年3月2日（土）13:30～16:45

会場：プラザ洞津

演者・演目：

- ・医学生・若手医師のための誰も教えてくれなかったノンテクニカルスキル（笹本浩平：名張市立病院）
- ・ネガティブキャンペーンから学ぶ総合診療への誤解と真実
 - ・中村太一（三重県立一志病院）
 - ・谷崎隆太郎（市立伊勢総合病院）
 - ・宮松弥生（市立伊勢総合病院）
 - ・赤松 慧（亀山市立医療センター）
 - ・堀端 謙（司会、亀山市立医療センター/三重大学医学部亀山地域医療学講座）

学生・研修医 10名、教員・指導医 15名が参加し、盛況のうちに終わることができました。

【今後の予定】

1) レジデントデイ

日時：2025年3月18日（火）15:00～18:00

会場：三重大学医学部内講義室

今年度 最後のレジデントデイとなります。新家庭医療専門研修プログラムの2名が修了予定です。

●富山支部

【活動報告】

1) PF勉強(えびカン)

毎月ポートフォリオ勉強会を行っています。今回は1月2月の勉強会を実施しています。

県内の研修プログラム共同で毎月開催しています。

専攻医からはCbDの提示や、ポートフォリオ発表がありました。総合診療医はプライベートの経験も含めすべてが自分の診療の糧になる、私は改めてそう感じることができました。

また、今回は、家庭医療に興味を持ってくれた学生2名も参加してくれました。

本年も引き続き、みんなでワイワイと頑張っていきたいと思います。興味ある方はお試し参加も可能ですのでぜひご連絡ください。

2) PFブートキャンプ

とやま総合診療専攻研修プログラムでは、ポートフォリオブートキャンプを1月13日（月・祝）に開催しました。

来年度は総合診療専攻医 2 名、家庭医療専攻医 3 名が専門医試験を受験予定となっており、60 ほどのポートフォリオを総勢 9 名の指導医で確認・添削を行いました。ポートフォリオを作り上げる専攻医だけでなく、それをチェックする指導医にとっても負担の大きなイベントですが、この 1 日によって合格率を上げられるよう、そして何より優秀な総合診療専門医・家庭医療専門医が誕生するよう、とむじゅりー丸となって取り組んでいます。

3) 研究勉強会

2025 年 1 月 27 日に、令和 6 年度第 4 回となる研究勉強会を開催しました。

今回は、横浜市立大学大学院データサイエンス研究科の金子惇先生をお招きし、「コミュニティと医療の連携と、そのアカデミックな発信」と題し、ご講演・ワークショップを開催いただきました。

金子先生のこれまでの離島診療所・都市部の診療所でのご活動に加え、現在横浜市立大学総合診療科と連携しながら診療に当たられている横浜市寿町の寿町健康福祉交流センター診療所での取り組みについてご紹介いただきました。

地域で生活されている人々、またすでに活動されている方々のリスペクトを第一に、ご自身が楽しく、他の方々を巻き込みながら活動されているプロセスについて参加者一同非常に刺激を受けました。

さらに、昨年このご活動を論文化され、Annals of Family Medicine に掲載されています。論文化することで、世界で同じように活動する人々にとっても学びが得られること、ネットワークが築けるというメリットを共有いただきました。さらに「自分たちの今行っている活動を論文化するとしたらどこがポイントにできそうか？」というお題でディスカッションを行っています。

4) FD 開催

2 月 23 日 (日) に PC 学会富山県支部主催により、亀田ファミリークリニック館山の岡田唯男先生と奥内科・在宅クリニックの奥知久先生による、組織運営やカンファレンスの運営についてのワークショップを富山の温泉宿・呉羽ハイツで開催しました。

北信越 HANDS という FD 研修の最終回として現地開催のみで、少人数でアットホームに行われました。

テーマ 1 「スモールグループディスカッション」

テーマ 2 議論をファシリする技術の磨き方 「組織を育む あなたを目指して」

岡田先生と奥知久先生のコラボ FD での本質に迫ろう

テーマ 3 北信越 HANDS2024 卒業発表 まとめ 未来を切り拓くための総仕上げ

といった内容で、奥先生の軽快なトークと空間を活かしたアイデア、また運営スタッフの力もあり大変盛り上がったようです。

北信越 HANDS ホームページはこちら

<https://sites.google.com/site/hhandspub/home>

5) 第 1 回富山県支部会

2 月 15 日に開催しました。

地域コミュニティと医療というテーマで一般演題、特別講演、ワークショップを行いました。

一般演題ではオンライン参加も含め、県内外の医師や看護師、ソーシャルワーカー、医学生など多職種で構成された、計 8 名の方に発表していただきました。質問も活発になされ、発表後にも新たなつながりが生まれるような、良い企画だったと思います。

特別講演では、福井県にある高浜町国民健康保険和田診療所の井階友貴先生に講演していただきました。井階先生の経験も踏まえたコミュニティと医療についての話は、これから地域活動に取り組みたい方にとっては一歩踏み出したくなるような、今までやってきた方にとっては良い意味で「これでいいんだ」と思えるような話で、とても参考

になりました。

井階先生とは同じ北陸同士付き合いが長く、私たちの扱い？もよくわかっており、笑いが絶えない特別講演となりました。

ワークショップでは地域活動で感じる課題とその解決策について、それぞれが思いつくまま話し合い、共有しました。

第1回支部会としてふさわしく盛会に終わりました。今後も多職種を含めた活発な交流の場としていき、富山県のプライマリ・ケアの発展に貢献できればと思います。

●岐阜支部

【活動報告】

1) 第9回ぎふ総合診療レジデントデイ

日時：2025年1月10日（金）13：00～17：00

場所：岐阜県総合医療センター中会議室

参加：専攻医8名、専門医2名

内容： 13：00～ 困難事例検討会 レクチャー

14：30～ 鑑別疾患ブラッシュアップ（簡易事例検討会）

15：00～ 総合診療科の医局会（プログラムの改善にむけての会議、今後の予定などの確認）

2) 第1回岐阜県総合診療専門研修プログラム指導者講習会

日時：2025年1月25日（土）14：00～16：30

場所：せきてらす（〒501-3874 関市平和通4-12-1）

参加：岐阜県内の総合診療専門研修プログラム基幹6施設と連携施設の指導医17名

内容： 14：00～ 講習会開催の趣旨と目的

14：05～ 参加者自己紹介

14：20～ 総合診療専門研修プログラムおよび専攻医教育の紹介

1) 県北西部地域医療センター国保白鳥病院 後藤忠雄

2) シティ・タワー診療所 島崎亮司

3) みどり病院 西尾大樹

4) 岐阜大学医学部附属病院 森田浩之

15：10～ 岐阜県の総合診療専攻医が増えるために私たちは何をすべきか？ 司会 森充広

総合専門医の育成推進

心身や生活を含めて診察

県内指導医 研修ノウハウ共有で初会合

臓器ではなく患者の心身や生活を含め診察する「総合診療専門医」を増やそうと、専門医研修を実施している県内の医療機関の指導医らが集まり研修プログラムやノウハウを共有する初会合が、関市平和通のせきでらで開催された。



総合診療専門医の指導医が集まって取り組みを共有した会合。関市平和通、せきでら。

総合診療専門医は、日本専門医機構が育成に乗り出し、2021年に1期生が誕生した。県内ではこれまでに6人が専門医研修を終えたが、医師不足に悩む地域のニーズに比べ、専門医研修を受ける専攻医（旧後期研修医）はまだ少ない。会の発起人で、岐阜大学院医学系研究科で総合内科を担当する森田浩之教授は「指導医の横のつながりにより教育力を高め、専攻医の増加や、地域のプライマリケア（初期医療）の質向上を目指したい」と話す。県では医療機関6施設で専攻医を受け入れており、岐阜大病院を中心に26の病院・診療所と連携して3年間の研修を実施している。講習会では指導医ら16人が参加し、各地域に応じた研修や教育法などを紹介。「指導医の苦手が研修の欠点となる」「臨床研究がほとんどできない」といった課題も挙げられた。

また愛知など県外の専門医研修を選ぶ研修医（旧前期研修医）も少なくないことから、医学生や研修医に県内の指導医や研修内容、育成実績をPRするホームページの立ち上げなどが話し合われた。

岐阜新聞 2025年2月2日付掲載

【今後の予定】

1) 第10回ぎふ総合診療レジデントデイ
日時：2025年3月14日（土）13：00～17：00
場所：古民家レンタルスペース le passage（岐阜市日ノ本町 1-1）

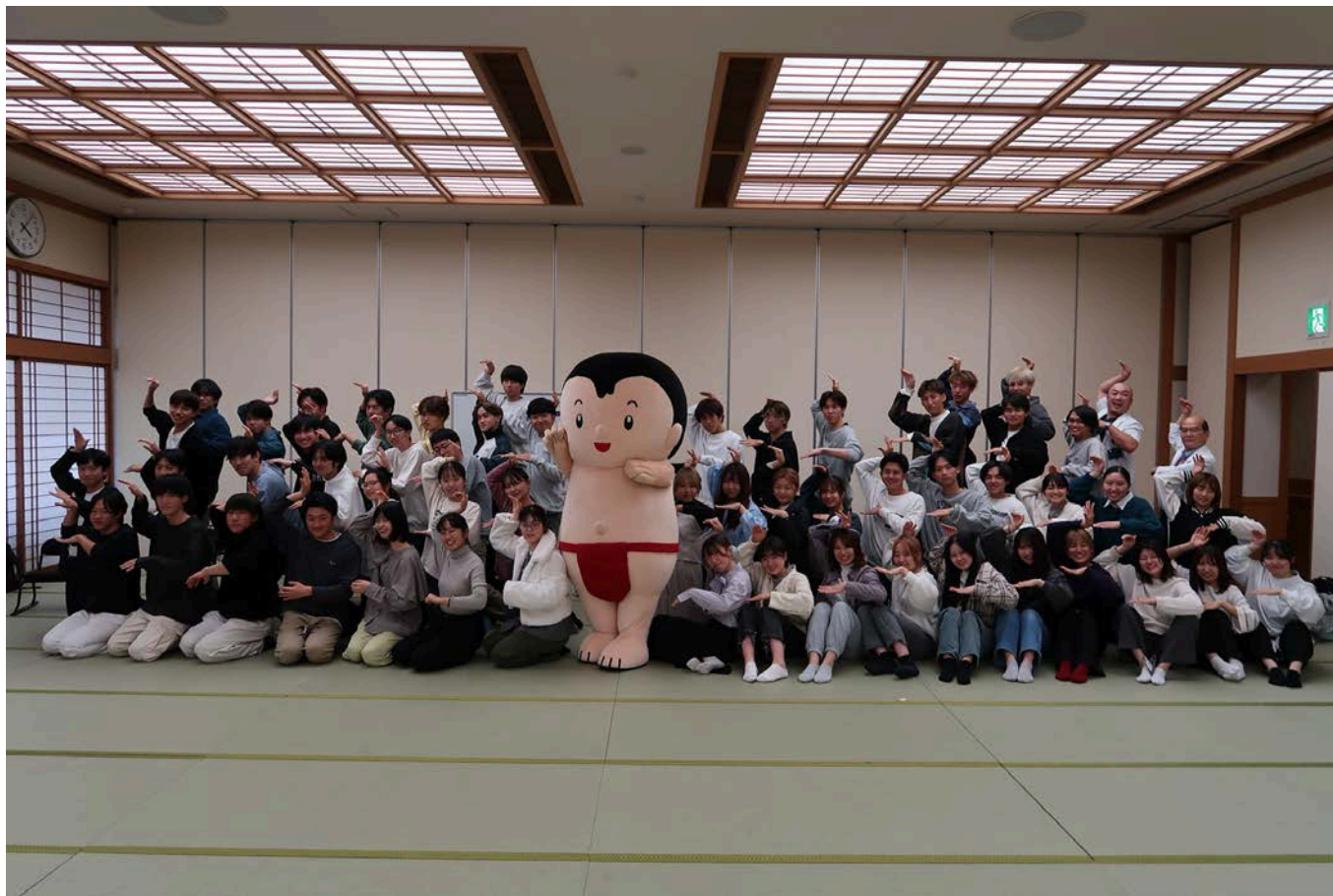
2) 第2回岐阜県総合診療専門研修プログラム指導者講習会
日時：2025年7月19日（土）16：00～18：00
場所：県北西部地域医療センター国保白鳥病院

●福井支部

【活動報告】

1) 福井大学医学部医学科1年次地域医療早期体験実習実施！

福井大学医学部医学科1年生 110名が、高浜町の地域医療の現場で1日の早期体験実習を行いました。町長、JCHO若狭高浜病院秋野院長の挨拶、患者中心の医療、多職種協働、住民交流の各ブースでのワークショップ、海透優太先生の全体講演を町ぐるみで提供、生活に身近な医療の意義を感じていただきました。



2) 永平寺町立在宅訪問診療所 地域住民向け講演会

「あなたのかかりつけ医はどこですか?～生活習慣病改善のために～」

町よりかかりつけ医を持っている世帯が少なく、糖尿病や肥満の方が多いため、講演の依頼がありました。当院では今年度より生活習慣病療養計画書を記載するようになり、これと患者様へのアンケート、また町のデータを織り交ぜて発表を行いました。今回講演するにあたって、様々なデータを集計しましたが、「健康診断受診率は全国平均くらいにもかかわらず、健康指導率はかなり低い」ことがとても印象的でした。今後の診療所の課題として、通院・受診しやすい病院づくりや、今回の講演会のような住民への働きかけが肝要であると感じました。予定していた人数よりも多くの住民に参加いただき、講演会後に個別で質問していただく方が多く、中には当診療所への訪問診療を希望される方もいました。講演の手ごたえとしても十分に感じており、今後もこのような住民向けの講演を行うことや、当診療所でのアンケート結果を町役場や保健センター等に掲示するなど、市町村と共同での働きかけも行えたらと思います。



●静岡支部

【活動報告】

1) 第11回静岡プライマリ・ケアフォーラム開催(静岡支部)

日時：2025年2月1日

テーマ：『JPCA2024 静岡発 未来のプライマリ・ケアへ』

会場：掛川グランドホテル及びオンライン (Zoom) とのハイブリッド開催

参加者：計30人

内容：ミニ講演「地域共生社会に向けて医療機関ができること」

講師 宮地 紘樹 先生 (掛川東病院院長)

インタラクティブセッション

JPCA2024 を振り返って ～JPCA2024 の実行委員会メンバーおよび学術大会参加者より～

グループディスカッション

1.JPCA2024 開催の経験をどのように活かすか

2. 静岡県内のネットワーキング、および県支部活動の可能性を探る

ミニ講演では、『地域共生社会に向けて医療機関ができること』をテーマに、掛川東病院院長の宮地紘樹先生にご講演いただきました。、地域病院のミッションとして、病院機能を維持しながら、予防事業や地域づくり、教育などを含むコミュニティケアを実現する「コミュニティホスピタル」の構築の必要性についてご説明いただきました。多職種の連携や地域住民、行政、企業とのつながりを構築する活動等、実践的な事例をもちいながら地域共生に向けて医療機関ができる可能性をお話いただきました。

続いてインタラクティブセッションでは、実行委員会のメンバーの振り返りなども含めて様々な角度からJPCA2024 を振り返り、JPCA2024 の経験を個人 (県は次のセッション) がどう活かしていくかについて話し合いを行いました。グループワークでは、「第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(浜松大会)の開催を経験して、その後の仕事、生活で変わったことはあるか、または今後どのように変えていきたいか」「浜松大会開催を受けて、施設・職種を超えたネットワーキングを今後どう活かしていくか。ひいては静岡県支部全体の活動を今後どのように発展させていくか」について、グループに分かれ、それぞれの立場・観点から多様なプロジェクト、地域連携の在り方等活発なディスカッションが行われました。

2) 第20回慢性期医療を考える会(静岡県立総合病院)

日時: 令和6年12月3日(火) 18:50~21:00

場所: もくせい会館(静岡市葵区)

参加者: 現地 42名、Web 37名

一般演題 訪問歯科の関わり

演者: 医療法人社団仁静会音羽歯科クリニック山田雅夫先生

特別講演 地域を一つの“病院”にとらえる

~多職種・多機関・多分野が力を合わせればできること~

演者: 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所院長

松戸市医師会長・千葉県医師会理事

川越正平先生

内容: 一般演題では口腔ケアが栄養摂取・コミュニケーションの窓口となること、セルフケアと専門的ケア、歯科衛生士が同行しての訪問歯科診療について実例を交えて分かりやすく解説頂いた。

特別講演では地域医療連携、地域包括ケア、二人主治医制などが枠組みだけでなく実際に機能するようにするためには他疾患併存、生活上の困りごと、病状理解、服薬管理などの患者さんに関わる課題をまずは理解し、どう解決するかをともに考えていく存在こそが最も重要であること、松戸市医師会ではワンストップで相談可能な窓口として在宅医療・介護連携支援センターがあることや、認知症合併糖尿病、がん患者で必要な支援などの具体例をご講演いただいた。

3) 第3回しずセミ!勉強会開催《~静岡の家庭医と学ぶプライマリ・ケア入門セミナー~》

(静岡家庭医養成プログラム)

日時: 2025年2月20日(木)

静岡家庭医養成プログラム主催 医学生・初期研修医を対象とした勉強会を開催いたしました。

しずセミ!は2022年度より静岡の家庭医と学ぶプライマリ・ケア入門セミナーとして年3回オンラインにて勉強会を行っております。

今年度は、全3回(9月、12月、2月)にわたり外国人のSDH(健康の社会的決定要因)について行っており、今回のテーマは、『初学者向け!!あなたの身近にもSDHが?一救急外来で遭遇した外国人とSDH』です。

SFM専攻医が経験したSDHの実例を元に一緒に考えてみよう!とレクチャーとグループディスカッションを企画し、ご参加いただきました皆様と一緒に「SDH(健康の社会的決定要因)」について、楽しく学びました。

静岡家庭医養成プログラムでは来年度の専攻医募集も開始し、3月24日(月)19時~プログラム説明会を開催します。ご関心のある初期研修医の先生方、ぜひご参加ください!詳細はHP (<https://www.shizuoka-fm.org/>)にて。

<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口

三重県;若林英樹、富山県;三浦太郎、石川県;吉岡哲也、岐阜県;森田浩之、福井県;林寛之、静岡県;井上真智子、愛知県;佐藤寿一

●プログラム責任者の会中部ブロック代表;大浦誠

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください

中部ブロック支部事務局 kimura.etsuko.f2@f.mail.nagoya-u.ac.jp